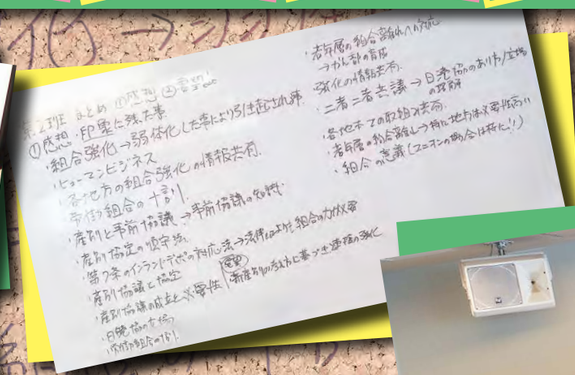
第56期 中央労働講座開催



第56期中央労働講座 実施要綱

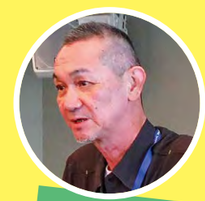
	6月12日	6月13日	6月14日
7:00		朝食	朝食
9:00		「産別協定と事前協議制度」 講師：玉田雅也（全国港湾書記長）	講義全体のグループ討論
10:00		グループ討論・まとめ	講義全体のまとめ
10:30			総評：橋崎正伸
11:00		「組織運営における書記長の役目」 講師：鈴木龍一（副執行委員長）	閉講式
12:00		昼食	
13:00		グループ討論・まとめ	
14:00		レクリエーション	
15:00	開講式、主催者あいさつ		
15:30	「全港湾の歴史」 講師：鈴木誠一（中央執行委員長）		
16:30	グループ討論・まとめ		
17:30	休憩	休憩	
18:00	夕食	夕食	

鈴木誠一
委員長

鈴木龍一
副委員長

玉田
全国港湾書記長

橋崎
副委員長



松永
書記長

第56期中央労働講座の級長の座を、レクリエーションの班別対抗オンブローゲームで勝ち取った関西地方大阪支部の関谷です。今回の労働講座は、書記長クラスの参加と指示があり、書記長は扇の要部分であり重要であり強化したい。また、書記長同士の横のつながりが必要であると考えるために交流を深めてほしいと趣旨説明がありました。全港湾の結成から港湾労働法の制定闘争、全国港湾を結成して産別交渉確立した歴史を学びました。また、現在の日本は特定利用空港・港湾の制定など軍事化が進められていますが、資源がなく、食料自給率が低い日本は戦争をしてはいけないと再認識しました。港湾産別協定は先輩たちが築いた財産であり、産別協定と事前協議制度は未来へ向けて重要であるとわかりました。また、日港協による産別制度賃金の団交拒否には徹底してたたかいます。組織率の低下は組織の弱体化をまねき、そうなると企業は牙をむいてくるでしょう。そうさせないためにも５つの組織力を強化し、労働運動はもちろんですが、反戦平和・護憲・反原発・選挙など組織外の運動にも参加していかなければと思います。特に選挙運動は歴史的な位置づけからも重要だと思いました。今回学んだ全港湾の歴史や産別協定、事前協議制度の重要性を、今度は私たちが継承して伝えていかなければと思います。どう伝えればいいか？上手く伝えられるか？など不安はありますが、継承していく気持ちはみんな同じだと思います。交流も同じ役職ということもあり深まりました。第56期のみなさん、ありがとうございました。できましたら今回限りではなく書記長クラスの講座を労働講座とは別に作っていただけたらと思います。最後になりましたが講師をしていただいた全国港湾玉田書記長、鈴木委員長、鈴木副委員長ありがとうございました。また、交流のために遅くまで部屋を開放していただいた松永書記長、橋崎副委員長ありがとうございました。

全日本港湾労働組合関西地方大阪支部　　書記次長　関谷和人

ブレイクタイム 0071
第0071号 2025年6月19日発行
全日本港湾労働組合　発行日：随時

第56期 中央労働講座開催

1班

2班

3班

4班